共感できる友に

シスター 小野島 照子

私は今夏、私の出生の恵みと神との出 会いと今の生活への招きを回顧するチャ ンスを得て感謝しています。

母が私を身ごもった時、父の仕事の関 係で、東京から台湾へ転勤。第二次世界 大戦中で、母の実家では「子供を出産して から台湾に渡るよう 日に勧めた。しかし、 母は1年10か月上の東京で生まれた息子 がいるので、次の出産後に二人の子を連 れて台湾に渡るのは不安だから、父と一緒 に妊娠中に台湾に渡り、私を台南で出産し た。戦争中、単身二人の幼児を連れて台 湾に渡るのは困難だった。母の実家は広 島の八丁堀。原爆ですべてを失い、母の 妹は爆死。もし、広島に残っていたら、戦 争も激しくなり台湾へ渡ることはできなかっ ただろう。台湾で私が生まれたので父は私 と9か月間一緒に過ごして戦地に送られ た。

戦争が終わり、原爆投下6か月後に、私 たち親子3人は台湾から広島に引き上げ、 私は3歳2か月だった。焼野原の広島での 生活は、幼い私には理解も表現もできなか った。後で思い出すイメージは、楽園から 廃墟に転落した感じ。被爆者の中ではよそ 者扱いをされる存在でした。

それでも子供ながら生き残った祖父母と母を見習いながら一生懸命近所の被爆者達を助けました。私はどんなに頑張っても被爆者にはなれない。疎外された人々に共感する呼び掛けをこの時からいただき、これが援助修道会に引かれる原点になったのでしょう。

フィリピンで独裁者の圧政と貧困に苦しむ人々と連帯して生きた 10 年間、同じような心境を広島で味わったと気付きました。 どんなに頑張っても被爆者にはなれなかったように、どんなに連帯活動をしても私はフィリピン人にはなれないけれど、共感できる友になるように導かれ、そこから先は神様の出番なのです。

今も広島にあって、深いトラウマを抱えている人々が、教会を訪ねて来られます。 傾聴の限界を感じつつも、「神様、あなたの出番です」と毎晩祈り、その日に出会った人を神様に託します。

フィリピンでの忘れられない出会い

I W

僕はペルーで生まれて育ちま した。日本に来て3年目になりま す。

今回のインファンタ教区訪問には、不安がありました。一緒に参加する皆とコミュニケーションが取れるだろうか、初めて訪れるフィリピンはどんな所だろうかと。でもその心配はすぐに杞憂に終

わりました。皆とても親切で優しく、またフィリピンは 景色が綺麗ですぐに好きになりました。

それからフィリピンには多くの教会があることに 気づきました。そして、カトリック教徒が多いことを 知りました。たまにスペイン語に似た言葉が聞か れ、不思議に思いました。後で調べたら、ペルー が以前スペインの植民地下にあった同じ頃、フィリ ピンもまたスペインによる植民地時代を過ごしてい た事を知りました。

おいしいマンゴーを食べるとペルーを思い出し、



さまざまなペルーとの共通点を見つけ、フィリピンにとても親近感が湧きました。

僕達を笑顔で温かく迎え入れてくださった、ホストファミリーのクリスおじさんとニナおばさんには大変お世話になりました。学校に行くと、多くの同世代の学生たちに出会えました。校内を案内してくれたり、一緒に踊ったりして楽しかったです。

この夏、僕は大変貴重で有意義な体験をさせ てもらいました。神父様、今回の訪問で出会えた 仲間、フィリピンでお世話になった方々、ありがとう ございました。

教皇フランシスコ来日についてのお知らせ

教区からの お知らせ

①白浜司教様からのお知らせを掲示しています。

聖堂入口の掲示板をご覧ください。

②訪問地のミサ(11 月 25 日(月) 16:00~ 東京ドーム)・行事への 参加申し込みの方法の特設サイトや、問合せ先、入力する教会コードなどを 掲載したプリントをエントランスホールに置いています。 7/27.28

教会学校リーダー MH

7月27日・28日、廿日市吉和で夏期合宿を行いました。今年は 子ども10名とリーダー10名、シスター橋本、シルベスタ神学生、荻主任司祭、保護者3名の総勢25名が参加しました。

27 日は午前10 時に幟町教会に 集合。11 時半に 吉和のキャビン に到着。お弁当 を食べ、吉和森 林公園のフィー ルドアスレチック スで丸太を使っ た37のコースに 挑戦しました。途 中丸太やロープ に昇ったり、下り たりして各コース の点数を競い合 いながら汗いっぱ









いかいて遊びました。おやつは、信者さんから頂いたスイカでスイカ割りをして盛り上がり冷えたスイカをおなか一杯頂きました。

夕食は庭でバーベキューをし、近くの温泉に行きました。温泉から帰りプリンを食べ、花火を楽しみました。夕の祈りをして寝袋の中に入り就寝。



28日は7時半に起床、朝の祈りをしておいしい朝食を食べました。



8時半からキャビン

の周りをリーダーと散策、自分の好きな植物を採取してラミネートするワークショップを楽しみました。 10 時半から子どもミサを荻神父さまにして頂き、昼食のそうめんを食べ帰路に着きました。

フィールドアスレチックス・スイカ割り・温泉・花火・寝袋・ワークショップ・子どもミサどれも楽しい経験で思い出になりました。神様に感謝!!

2人の娘への祝福に感謝

АН

9月15日に、娘KH、RHが、共に0歳の洗礼 式を無事迎えることができました。

荻神父様はじめシスター小野島・代母のNさんや、たくさんの方々に祝福をいただき、洗礼を授けていただいたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

二人とも乳児とあって今はまだ何も分からないこ とばかりです。

もうすぐ 3 歳になる息子がミサへ行く度、しっかり 両手を合わせ、お祈りをしたり、家で神父様の真 似をしており、息子からアーメン(ミサ)へ行きたい と言い出すことがあります。私は心の中で成長を喜 んでいるとともに、親である私たちが教会へ通い 神様と向き合える環境をつくることが、子供の信仰 心を育てるうえでとても大事だと感じております。

今回洗礼を受けた娘にも神様を身近に感じても らえるようこれからもミサやお勉強会へ親子共々通 わせていただき、奉仕活動などにも携わっていき たいと思います。

いただいた霊名(ファティマの聖母マリア)を胸に、



神に感謝し成長していく2人をどうか温かい目で見 守っていただけると幸いです。本日は誠にありがと うございました。



カトリック幟町教会

〒730-0016 広島市中区幟町 4番 42号

電話 082-221-0621 ファクス 082-221-8486

ホームページ http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日 7:30、9:30、14:30~(英語) 第1日曜日 15:00 (ポルトガル語) 第4日曜日 11:00 (ベトナム語) 月の最後の日曜日 17:00 (スペイン語) 平日 7:00 金曜日 7:00、10:00

土曜日7:00、18:00 (主日)

主任司祭 荻 喜代治 神父 助任司祭 バート神父 (淳心会)

シスター 小野島照子 (援助修道会)